

県内男子2チーム 新リーグ＝Vリーグへの参戦が正式決定

【県総務委員長 内山政則】

先日来テレビ、新聞で取り上げられております通り、10年前から南箕輪村に本拠地を置きながらクラブチームとして地道な活動を続けてきた「VC長野トライデンツ」(今シーズンはチャレンジIに所属)が、V1(今迄のプレミアリーグ＝1部相当)に参戦することが決まりました。又、須坂市に本拠地を置く長野☆GaRonsもV2(今迄のチャレンジI＝2部相当)に参戦することも決まりました。

両チーム共、別々の職場で仕事をしながらの選手活動です。資金面を始めとする応援をするためにも、多くの県民の皆様方に両チームの存在、活躍を伝えることが重要かと思えます。県協会と致しましても、多くの課題を共有しながら、出来る限りの応援をして行きたいと思っております。

長野県内バレーボール愛好者全員で心からお祝いし、国内最高峰での活躍をお祈り申し上げます。



「V1参入に向けて」～ 株式会社VC長野クリエイトスポーツ 代表取締役 笹川星哉
この度、来季から私たちはV1リーグで戦うことが決まりました。これも一重に皆様からのご支援・ご声援があったればこそこのことであり、心から感謝致します。



V1に参入するということがどれだけ険しい道になるのかは重々承知しています。それでも私たちチームは覚悟を決めました。来月でクラブ設立10周年を迎える記念すべきその年に、このチャンスを掴めたことは、これからのVC長野としてとても大事なものになりますし、次の10年「V1ファイナリスト」に向けたスタートだと感じております。

リーマンショック時期に立ち上げたこのクラブが、10年で1部参入することは誰も予想できなかったと思います。しかし、不安を抱えながらもチーム、スポンサー、ファン・サポーター、地域が「信じた」集団になったから

こそ成し遂げたことであり、この強い繋がりにはVリーグNo.1だと思います。

これからの10年に向けては、この「繋がり」をもっと広く強くして行かなければなりません。V1で戦い続けるにはまだまだ資金力、練習環境、施設面といった課題は山積みです。チームはその課題と向き合い、苦しみながらも戦い続けます。チームエンブレムにも入っている「桜のように人が集まり」「誰もが見上げるアルプスのように大きな」チームにしていきます。皆様の力をぜひお貸し下さい。応援宜しくお願い致します。

「V2参戦にあたり」～ 長野☆GaRons GM 篠崎 寛

我々長野ガロンズは、来季リーグより一つ上のカテゴリーとなるV2に参戦致します。

昨年、VC長野について初参戦したリーグでしたが、このVリーグに参戦するということは、大きな変化となりました。その一つとして、企業体ではなく、地域の皆様と共に作り出すということです。

今までの長野県は、小学校、中学校、高校は日本でもトップクラスの実力がありながら、社会人に受け皿がないということの問題視されておりました。今は、この問題を解決の方向に確実に進めた状態になっていると思います。

現実には、ちやほやされながらバレーボール活動をしている訳ではなく、例えば厳しいライセンスの申請制度があったり、例えば行政はじめ地域の方々の御理解と御協力も必要であったりということで、スタッフを含めて選手も必死になって動いている状況です。勝つことが第一となり、そのプレッシャーも想像以上に強く感じております。

しかし、未来に向け一歩ずつ進んでいることは間違いありません。子供達が憧れを持ってくれると共に、「将来はガロンズでバレーをする」、「ガロンズ頑張れ」等の声が、我々の弱った気持ちを前へ前へと押してくれました。

私達が今やるべきことは、作り上げたこの環境を、長野県にVリーグチームがある環境を維持することです。先人の皆様が作り上げた、バレーボールの盛んな長野県の風土を引き継ぎ、日本のトップに繋がる環境が出来上がりました。次の世代に繋げるために、前へ、前へ進みます。歩みは遅いかもしれませんが、進みます。まだまだ派手さはありませんが、皆で知恵を出し合い、皆で作り上げるようにしていきます。今後も引き続き、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第82回理事会・第14回加盟団体代表委員総会が開催される

【県総務委員長 内山政則】

一般財団法人長野県バレーボール協会の第82回理事会が、平成30年3月10日(土)午前10時より、たつのパークホテルにて開催されました。当日は前夜からの積雪で道路状況が悪く、会議のスタートが30分近く遅れました。理事の皆様もぎりぎりの12名が揃い、何とか会が成立しました。会議終了時には予定されていた皆様も参会することが出来ました。



会議では平成30年度事業計画(案)、同収支予算(案)が慎重審議の末、可決されました。

引き続き午後1時30分から第14回加盟団体代表委員総会が同ホテルで開かれ、理事会で承認されました平成30年度事業計画並びに同収支予算の報告がなされました。

船木会長からは、日頃の協会事業へのご支援・ご協力に対する感謝の言葉が述べられた

後、昨年11月に開催された協会創立70周年記念事業成功のお礼と更なる結束依頼、Vリーグでの県関係チームの活躍等、地域でバレーボールが盛り上げることが2020年東京オリンピックに於けるバレーボール競技の輝きに繋がるとの話がありました。最後に、重ねて関係者の一層のご支援をお願いしたい旨の挨拶がありました。

平成 30 年度 運営基本方針

2020 年東京オリンピック・パラリンピックも刻々と近づいてまいりました。バレーボールもこれを機に、日本中が一丸となって四つのメダル獲得を達成し、競技人口の拡大、バレーボールの人気の復活を期待するところです。

JVA は、『相互信頼の修復を喫緊の課題とし、事業運営のキーワード「強化」「普及」「連携」を基本方針として、バレーボール関係者が一つとなって課題解決に向け努力する。』を会長の所信表明として進めることとなりました。当協会といたしましても、倫理・コンプライアンスに対する取り組みの強化をし、健全な協会運営に努力してまいります。



2017/18Vリーグの結果は、VC 長野トライデンツがチャレンジⅠ 5 位、長野☆GaRons がチャレンジⅡ 7 位で終了しました。2018/19 リーグの奮起を期待するものであります。

今年度からVリーグは新リーグ方式となり開催方法も変更されチーム主体の開催となります。今年度開催する、Vリーグ

関連のホームゲーム、天皇杯・皇后杯北信越ブロックラウンド、北信越高等学校選手権大会、北信越ビーチ選手権大会をはじめとする北信越関連大会、各種県大会を昨年同様協会員各位の協力により成功裏でおさめ、健全財政確保に努めてまいります。

国民体育大会において、昨年度は北信越国体始まって以来の本国体出場ゼロという屈辱的な成績で終わってしまいました。この結果を検証し今年度は全種目本国体出場を目標に強化を図り、少年男女・成年男女・ビーチ共に最強チームを結成し、第 73 回福井国体での天皇杯得点獲得目標 25 点を達成します。

また、長野国体に向けて長期的な強化計画の策定を図ります。

重 点 事 業

1. 強 化

昨年度の汚名を返上すべく 6 種別（ビーチを含む）ともに北信越を突破し、第 73 回福井国体において天皇杯得点 25 点以上を獲得する。

- （1）成 年 ：これまでどおり、県内有力チーム・選手をベースに有力な「ふるさと選手」を補強して臨み総力をあげて本国体出場と天皇杯得点の獲得を目指す。
- （2）少 年 ：インターハイ県予選優勝チームを核に上位チームより有力選手を補強して臨み、男女ともに 最強チームで本国体上位入賞を目指す。また、併せて中長期的視野において若手トップ指導者の育成を図っていく。
- （3）ジュニア強化：2027 長野国体を見据えて、強化、指導普及、小中高指導者が更に連携を強化して、人材の発掘・育成活動等、一貫指導体制の充実を図る。

2. Vリーグ大会の成功

Vリーグホームゲームを成功させ、今後のビッグ大会の開催に向けNVAの強化を図る。

3 競技人口拡大

小中高の競技人口はメディアによる影響を大きく受ける。平成 27～28 年度にはアニメの影響を受けた子ども達が競技を始めたことにより、県内では若年層競技人口の減少に一旦歯止めがかかった。しかし、バレーボールの人気の停滞していることは事実である。強化委員会と指導普及委員が連携を図り、小中高の指導者と情報交換を行い、部員の獲得方法の在り方を研究して、競技人口の拡大を図る。

男子は中川中 女子は阿智中が共にベスト4に食い込む

【県総務副委員長：木下久資】

3月17日（土）～18日（日）、各県男女上位4チーム、男女計40チームを集めて標記大会が新潟県上越市で開催されました。



男子は、1位：小布施町立小布施中学校・2位：中川村立中川中学校・3位：安曇野市立三郷中学校・4位：長野市立広徳中学校が出場しました。

この内、三郷中は富山県1位の砺波市立庄川中学校に、広徳中は今大会準優勝した福井県3位の鯖江市鯖江中学校に何れも初戦で敗れ、1日目で姿を消しました。又、2日目に残った小布施中も、新潟県3位の糸魚川市立糸魚川中学校の速いサーブと高いブロックにエースが封じ込まれ、準々決勝で涙を吞みました。

最後の砦となった中川中は、準々決勝で福井県1位の坂井市三国中学校と対戦。2セット目こそ23点目を取ってから気の緩みで落としたものの、両エースが要所でスパイクを決めて、男子としては3年振りにベスト4に進出しました。その準決勝の相手は、

優勝候補筆頭の新潟市立中之口中学校。2年生ながら選抜チームにも入った181センチのエースを擁する新潟県の1位チームに中川中も良く粘り、2セット共20点辺り迄は競り合いましたが、ブロックの枚数が少ない所を突かれる一方、大きなエースが後衛に回ってもタイミング良く跳ぶブロックにスパイクを引っかけられ、最後は押し切られてしまいました。

一方女子は、1位：南箕輪村立南箕輪中学校・2位：阿智村市立阿智中学校・3位：長野市立広徳中学校・4位：佐久市立臼田中学校の4チームが出場しました。

この内、臼田中は初戦で今大会準優勝となった福井県4位の越前町立宮崎中学校に、2セット目の競り合いを23点で落としたのが響いて、セットカウント1－2で敗れました。

2日目、準々決勝全4試合には残った3チームが登場しましたが、主将とリベロ以外は1年生の南箕輪中は、今大会で優勝した福井県3位の福井工業大学附属福井中学校に力負け。又、石川県1位の^{ほうだつ}宝達志水町立宝達中学校に競り勝った広徳中も、福井県2位の大野市陽明中学校に押し切られ、共にベスト8で終わりました。



そんな中、スタメンの半分が1年生の阿智中は、準々決勝で福井県1位の鯖江市中央中学校と対戦。ここで阿智中が屈すると、ベスト4は全て福井県勢となるところでしたが、1セット目こそ26－28で落としたものの、第2・第3セットは拾いに拾ってペースを握り、堂々準決勝進出を果たしました。尚、女子は各県1位チームが1校もベスト4に残らないという意外な展開となりました。

福井県の1位に勝って、準決勝の相手は福井県4位。1セット目を16点に抑えて先取した時には、決勝進出が現実味を帯びた阿智中でしたが、2セット目の中盤以降、存在感を発揮したのが158センチの相手裏エース。167センチあってジャンプ

力も豊かな表エースには対応出来ていたのですが、裏エースにコースを突いたスパイクを次々に決められ、常にリードを奪われる展開となってしまいました。ファイナルセットに入って中盤、サーブで崩されると、攻撃を読まれて拾われる一方、平均身長 155.7 ㌢の弱点も露呈し始め、20 点取るのが精一杯で力尽きてしまいました。

しかし、特に阿智中や南箕輪中は若いチームです。来る夏季大会に向け、更に力を伸ばしてくれるものと期待致します。

モルテン杯 第12回北信越クラブバレーボール9人制選手権大会

男子はOKAYAが県勢同士の決勝戦を制し 女子はThRoughが準優勝

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

3月24日（土）・25日（日）に新潟市において標記大会が開催されました。

この大会は、北信越クラブバレーボール連盟が9人制クラブチーム強化のため開催し、本年度12回目を迎えました。各県の予選会を勝ち上がったチームが参加しており、北信越のクラブナンバーワンを決める大会となっております。

男女各12チーム（長野県からは各3チーム）が出場し、1日目は4チームずつ3ブロックに分けて予選会を行い、その結果を基に2日目は順位ごとのトーナメントを行いました。

男子の決勝は、2年連続でOKAYAと大町クラブの対戦となり、OKAYAが勝利しました。

一方、女子の決勝はThRoughと新潟クラブの対戦となりました。一進一退の展開でしたが、ThRoughはフルセットの末、惜しくも新潟クラブに敗れて準優勝となりました。

【OKAYA 岩波孝比古】

3月24日（土）・25日（日）、モルテン杯第12回北信越クラブバレーボール9人制選手権大会が新潟市秋葉区総合体育館で開催されました。

大会1日目のブロック別予選グループ順位決定戦、OKAYAはBグループを1位で通過しました。

2日目の1位グループトーナメント戦、長野県勢では大町クラブと2チームが進出しました。準決勝は新潟市役所と対戦。終始OKAYAがリードし、ストレートで勝ち上がりました。

決勝戦は、昨年と同様のカードで、大町クラブとの対戦となりました。第1セットは、中盤でサーブを軸に得点を重ねられ、それを挽回出来ず大町クラブに先取を許しました。しかし、第2・第3セットは要所でブロックが決まるなどして、我々の持ち前である明るい雰囲気も生かし、連続して奪取。優勝という結果に繋げることが出来ました。



男子は小中混合の”うえだ” 女子は総合力の中高飯水が優勝！

【県指導普及委員長 三村公二】

3月11日(日)、伊那市立春富中学校・伊那市立東部中学校・南箕輪村立南箕輪中学校の各会場を使って標記大会を開催しました。JVAゴールドプランを受け、若年層競技人口拡大と13地区協会の人材確保を目的としてスタートしたこの大会も、今年で6回目となりました。

今年度は男子7チーム、女子12チーム、計19チームの参加となりました。



男子は中学生と小学生の混合となった”うえだ”が優勝。準優勝は2年連続で”ちくま”となりました。

女子の方は、総合力で上回った中高飯水が優勝しました。

年ごとに盛り上がりを見せている大会ですが、開催時期等についてご意見を頂きました。課題は今後解消して行くとして、来年度も各地区協会の皆様から寄せられる意見を参考に、バレーボールの競技人口の拡大へ向けて努力していきたいと存じます。今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。



第12回長野米カップ 長野県小学生バレーボール大会

男子は岡谷Jr 女子は阿智がそれぞれ初優勝を飾る！

【小学生連盟北信西支部競技委員長 中村 浩／県総務副委員長 木下久資】

第12回長野米カップ県大会が3月4日(日)、長野市のホワイトリングで開催されました。この大会は、小学生の新人大会に相当するもので、小学校5年生以下の選手でチームが構成されています。

男子は県内8ブロックの代表8チーム(各ブロック1位)が出場しました。

決勝戦は、準決勝で大北安曇野東筑ブロック代表の穂高キッズを破った諏訪ブロック代表の岡谷Jr(以下「岡谷」と)、同じく準決勝で上下伊那ブロック代表の辰野クラブを下した松塩木曽ブロック代表の松本ファイターズ(以下「松本」と)との対戦になりました。

第1セットは、14-14から好サーブと緩急をつけた攻撃で岡谷が先取しましたが、第2セットに入ると序盤は一転して松本ペース。効果的なサーブをきっかけに中盤で追い付き、その後も着実に加点。20-17とマッチポイントを握り、勝負あったかに思われましたが、ここで松本が驚異の粘りを見せ、一時は逆にセットポイントを握りました。しかし、この嫌な流れを断ち切って、最後もセンターからスパイクを決めて、岡谷が嬉しい初優勝を掴み取りました。岡谷は過去2回決勝で敗れていましたので、正に3度目の正直となりました。

一方の女子は、県内8ブロックの代表16チーム(各ブロックの1位・2位)が出場しました。決勝戦は、準決勝で前年度覇者の小布施スポーツ少年団(北信東ブロック1位)を破った上下伊那ブロック1位の阿智クラブ(以下「阿智」と)、同じく準決勝で北信東ブロック2位の平野を退けた北信西ブロック1位のみらくるとの対戦になりました。

両チーム共に、前チームからの主要メンバー5名が残っているため、新人戦とは思えない程レベルの高い試合となりました。

第1セットは、序盤の接戦を制した阿智がペースを握り、中盤から高さにもものを言わせて力で押し切りました。第2セットは、15点までは互角の戦い。最後は阿智が、高いブロックと多彩な攻撃で接戦を制しました。阿智は初めての決勝進出で、見事初の栄冠に輝きました。

以下、優勝チーム代表者の寄稿を掲載致します。

【岡谷 Jr コーチ 小林 竜也】

新チームになり、初めてとなった県大会。昨年の同大会では初戦敗退という悔しさを経験しました。今大会は昨年の悔しさを知っている五年生が主となり、優勝だけを目指し、日々厳しい練習を重ねてきました。



“自分の思いを相手に伝える”“自分達で試合を作る”ということを軸に日々練習を重ね、いざ本番！最後まで仲間に声を掛け、相手にリードされる場面があっても、励ましの声が絶えず、皆で前を向いて、上を向いて全力でプレー出来ていました。子供達の活躍を応援する指導者、保護者含めた「岡谷 Jr バレーボールクラブ」がチーム一丸となって戦った結果が、この“優勝”という結果に繋がったと思います。

まだ一人一人足りない部分もありますので、個人の技術力の向上と共にチームとして更なる成長に努めていきたいと思っています。

【阿智クラブ監督 今久留主 厚志】

長野市のホワイトリングにおきまして、開催されました長野米カップで阿智クラブは初優勝をすることが出来ました。

県大会では、選手達が自ら決めた目標を達成するため、ボールを自分のコートに落とさないように、最後の最後まで、指一本でもボールに触ろうと諦めずに一生懸命に追いかけてつないでいました。ブロックも2枚は最低つき、相手によっては3枚ブロックもしました。



攻撃力的にはどのチームも変わらないと感じましたが、どのチームよりも「負けたくない」「仲間と1試合でも多く試合をしたい」と思う気持ちが強いのは阿智クラブの選手達だったと感じました。

また、選手たちを全面的に陰で支えてくださる家族の皆さんがいるから安心して試合に臨み、その力のお陰で優勝できたと、選手もベンチスタッフも家族の皆さんに感謝しています。

この感謝の気持ちを日々持ちながら、新たな大会でも優勝できるように目標を持ってさらに頑張りたいと思います。

2017/18 V. LEAGUE感謝祭が開催される

【専務理事 竹淵光雄】

3月24日（土）、東京都港区高輪「グランドプリンスホテル高輪」でVリーグのシーズン年間表彰式となる「2017/18 V. LEAGUE 感謝祭」が開催され、専務理事の竹淵が招待されました。

又24日の女子オールスターゲーム終了後、新リーグ編成が発表され、VC長野トライデンツがVⅠに、長野☆GaRonsがVⅡに参戦することが発表されました。尚、今季VチャレンジリーグⅡの個人賞には、VC長野トライデンツの森崎健史選手が選出されました。



更に25日（日）に東京都大田区／大田区総合体育館で開催された男子オールスター戦に、Vチャレンジリーグ「Teamはねぴょん」の選手としてVC長野トライデンツの栗木勇、山本憲吾の2選手が選ばれ、「Teamブイリー」の選手としてVC長野トライデンツの長田翼、森崎健史、長野☆GaRonsの夏目真吾の3選手が選ばれて参加しました。

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会

第1回総務企画専門委員会が開催される

【専務理事 竹淵光雄】

表記委員会が3月20日（火）午後2時30分より長野県スポーツ会館2階会議室で開催され、当協会より専務理事の竹淵が委員として出席しました。

総務企画専門委員会に付託された事項は、総合計画の立案や会場施設の選定、開閉会式場の選定、県・市町村の業務・経費分担、競技場整備計画、文化プログラム、そして他の委員会に属さないこと等、非常に多岐に亘ります。これらを今後協議していくこととなりました。

今回の審議事項は、委員会の主な審議事項のスケジュールや開催市町村の選定の進め方、市町村及び競技団体への希望調査、総合開閉会式場選定についての意見交換等で、第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催に向けての準備がいよいよ始まりしました。

平成29年度 全国競技委員長研修会が開催される

【県競技委員 山崎 智】

3月3日（土）・4日（日）に、都道府県及び全国加盟団体競技委員長、ブロック競技委員長、国内競技委員会委員など約80名が集まり、平成29年度全国競技委員長研修会が東京都で開催されました。

研修会では、平成29年度大会報告や平成30年度国内競技会の運営、新システムのMRS、各種大会等の説明がありました。研修内容につきましては、4月22日（日）に安曇野市で開催の県競技委員会で周知を行うことにしています。

なお、平成30年度国内競技委員会「事業計画」は、次のとおりです。



1. 各種競技会の見直し（プロジェクト）
 - ① 競技会の運営等について
 - ② 競技会実施計画の検討
 - ③ 国内における実施種別見直しの検討継続
2. スムーズな大会運営
 - ① 危機管理体制の確立と徹底
 - ② ホームページ活用による情報提供の強化
 - ③ JVA-MRSシステムによる大会申し込みの拡大とチームとの連携
 - ④ 競技要項の整備及び活用状況・実態に即した更新
3. 連携強化 三委員会の連携強化による円滑な競技運営

第2回指導普及委員会を開催しました

【県指導普及委員長 三村公二】

3月4日（日）、今年度の第2回指導普及委員会を長野市において開催致しました。

会議の中での協議内容は、

- ① 平成29年度の事業報告と中間決算報告
- ② 平成30年度事業計画
- ③ 第6回13地区 対抗6人制選手権大会（U12の部）運営について

及び 全国指導普及委員長会議の報告でした。

協議の中で、各地区や加盟団体での取り組み等についても話題に上りました。来年度からJVAゴールドプランの事業として、小学校（低学年から中学年）や中学校からバレーを始めた児童・生徒を対象にした事業が始まります。指導普及委員会でも、競技者拡大や指導者養成に向けて取り組んで行くことを確認致しました。



～仲間と共に勝利をめざして!!～ 長野のバレーボール 2018 総集編

【協会事務局】

「ありがと！Nsports（エヌ・スポーツ）」を発行する（株）杏花印刷より、臨時増刊号 ～仲間と共に勝利をめざして!!～ 長野のバレーボール 2018 総集編 小学・中学・高校生版（1冊 1,000円＋税）が、2月27日に発売されました。

昨年発売の2017総集編に続く第4弾。長野県の小・中・高校生の各種大会の様子、試合結果、チーム紹介、監督、選手のコメントなど、フルカラーページの見ごたえある1冊となっています。

お近くの書店、コンビニでお買い求めいただけます。



お問合せ先

株式会社 杏花印刷 スポーツ出版事業部

☎026-296-8373 FAX026-296-8378

URL: <http://arigato-nsports.com/>

3月 試合結果

- ☆ 第12回長野米カップ長野県小学生バレーボール大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.3.4maicup_syogakusei.pdf
- ☆ 長野県13地区対抗6人制バレーボール選手権大会（U12）
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.3.11_13tiku_u12.pdf
- ☆ 菅公学生服杯 第16回北信越中学新人バレーボール優勝大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.3.17kankohai_tyugaku.pdf
- ☆ モルテン杯 第12回北信越クラブ9人制選手権大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.3.24molten_9club.pdf

4月 スケジュール

1. 4/1(日)	全国9人制審判講習会	(大阪府)
2. "	全国ビーチバレーボール審判講習会	(神奈川県)
3. 4/7(土)	指導普及委員会	(長野市)
4. 4/15(日)	審判委員会	(塩尻市)
5. 4/19(木)	第82回国体・第27回障がい者スポーツ大会競技団体説明会	(松本市)
6. 4/21(土)～22(日)	北信越バレーボール連盟各県理事長（専務理事）委員長会議	(富山県)
7. 4/22(日)	第68回中部日本6人制総合男女選手権大会県予選会(高校の部)	(安曇野市)
8. "	競技委員会	(安曇野市)
9. 4/26(木)	県体育協会 加盟団体代表者会議・長野県スポーツ懇談会	(長野市)